

庁舎増築棟整備に向けた

職員ワークショップ 発表まとめ

【職員ワークショップの進め方】

- ・テーマを基に、現状と課題の洗い出しを行い、方向性（あるべき姿）を実現するため、庁舎増築棟整備に求められる機能（ソフト面、ハード面とも）について、議論、発表を行う
- ・議会資料の「庁舎増築棟を建てた場合に想定される効果（市民への効果、職員への効果）」を踏まえて検討する

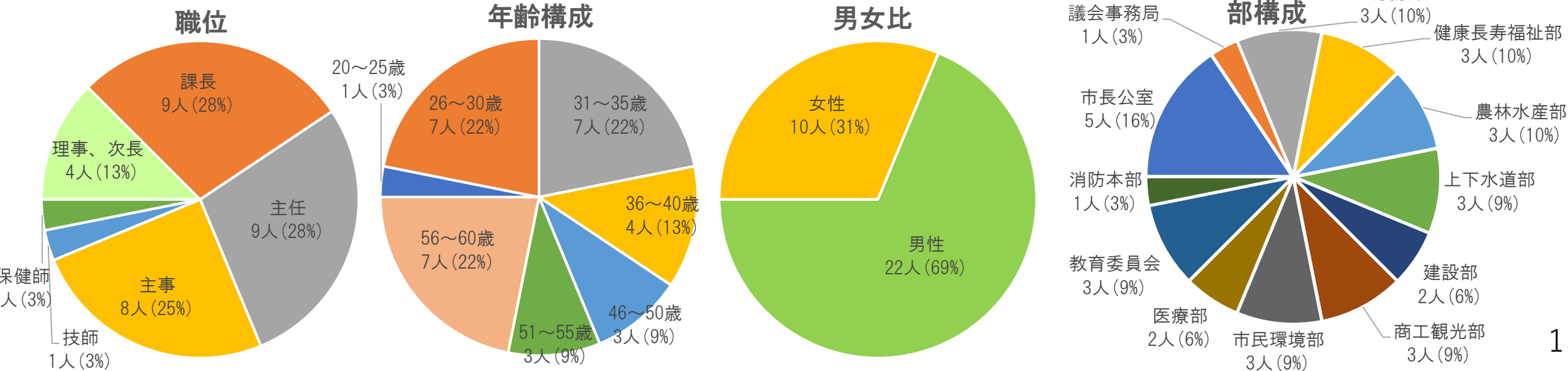


職員ワークショップでは、庁舎増築棟整備基本計画における基本理念及び基本方針の決定に向けた視点・考え方を導き出す

◆ 検討会議（代表課長等）13名とワーキンググループ（20～30代の若手職員）19名に分けて議論した。（計32名）
【グループ分け】 検討会議：A・B 、 ワーキンググループ：C～F ※7/28(水)及び8/11(木)の計2回実施

テーマ	グループ
1. 自分達（職員）にとって働きやすい市役所とは （組織のあり方、働き方・仕事の進め方）	A、C、E
2. 市民にとって役に立つ市役所とは （安心・安全、支援、課題解決、効率、窓口サービス、ネット型サービス（DX戦略）、コミュニケーション）	B、D、F

【職員ワークショップの構成(全体)】



職員ワークショップを通じて導出された庁舎増築棟整備に係る視点・考え方(例)

- ・ 庁舎増築棟の整備については、世代を超えてユーザーフレンドリーなものとするとともに、市民がつながり、にぎわうことのできる場としていくことが求められるため、ハード面を検討していくに当たっては、市民の活用の利便性向上や職員の働き方改革といったソフト面からの視点が不可欠である。
- ・ このため、下記の論点を一つの視点・考え方として、今後本部会議等において具体化を図っていくことが望まれる。

主な視点・考え方(例)

行政的観点

機能関連

- ✓ 行政機能の集約化を図るに当たっては、市民及び行政の双方の視点から検討すべきでないか。
 - ・ ワンストップで行政サービスを効率的に受けることができる、提供することができる部署配置（部署間のコミュニケーションの円滑化等を含む）
 - ・ 災害時等においても効率的・効果的な対応を行うことができる部署配置
 - ・ 市民の身近な窓口である市民局機能との連携・補完 等
- ✓ 単に行政サービスを提供するだけの場ではなく、市民が自然と集う場とすることが必要ではないか。

業務関連

- ✓ Wi-Fi環境の整備や窓口のデジタル化により、行政サービスの効率化を図るべきではないか。
- ✓ コンビニや保健室を設置するなど、福利厚生観点からの充実を図ることにより、業務の質の向上等につなげていくことができるのではないか。

人的観点

- ✓ すべての人にやさしい機能やサービス等に配慮したデザインにすべきではないか。
 - ・ 市民：子育て世代、年齢層、障害の有無 等
 - ・ 職員：子育て世代、業務 等

時間軸

- ✓ 社会の趨勢（感染症の発生、人口減少等）を捉えたものとするとともに、数十年を見据えたデザインとするなど、中長期的な時間軸をもって検討すべきではないか。

その他

- ✓ 庁舎増築棟に係るハード・ソフト面の整備と併せて、組織の在り方も見直しを図るなど、組織改革に繋げていくことが望ましいのではないか。
（例：DXに対応できる職員の養成、ボトムアップ型組織の醸成、テレワーク等に対応した体制構築 等）

※ 上記については、WSを通じて導出したものであり、上記の他にも、庁舎増築棟の整備位置や峰山総合福祉センターとの関係、脱炭素等の論点についても、今後本部会議等における具体的な検討が必要。

Aグループ

(代表課長等)

自分達（職員）にとって働きやすい市役所とは

庁舎増築棟の整備にあたっては、市の機能の集約化にあわせて、インターネット接続環境の整備及び執務環境の整備等のほか、相談しやすい環境や組織体制の構築、業務改善を図ることが必要と考える。これらの検討により、ワンストップが実現し、職場環境の充実のみならず市民サービスの向上につながると考える。

<ハード（施設、設備）>

優先度

高

あるべき

在宅勤務、テレワークできる		ICTの整備（効率化）		テレビ会議システムの整備（コロナ対策）		インターネット接続環境（絶対必要）	
快適	明るい事務室（照度）	充実したスペース	ユニバーサルデザイン	平屋	駐車場が近い、広い		

希望

低

空調が快適		設備が充実		執務室が広い		移動距離が短い事務室	
コンビニが敷地内		福利厚生が充実している			食堂がある		

<ソフト（仕事のやり方、考え方）>

ハラスメントがない	他部署との連携がとれる	課をこえた協議ができる体制（横のつながり）	下からの提案	答えのある会議
相談しやすい環境	相談しやすい組織	相談できる体制（協力しようとする姿勢）	問題を課題へ変える能力	報告は答えからしてほしい
仕事量に見合った職員配置	業務量が適量	定時で退庁	残業が少ない職場	
時間を決めた会議	的確な指示	会議時間が短い	休暇がとりやすい	移動する時間が少ない

職場環境の充実 = 市民サービスの向上

(イコール)

自分達（職員）にとって働きやすい市役所とは

庁舎増築棟の整備にあたっては、費用対効果の観点からも長く使える建物とすべきと考えることから汎用性のある建物とし、奇をてらったデザインではなく、ヨーロッパの建物のような時代に左右されないデザインとする。あわせて、働きやすい市役所とするため、他部局の職員や上司とのコミュニケーションが取りやすく、チームとして仕事ができる仕組みづくりなど業務のやり方についての検討が必要と考える。

<ハード（建物）>

- 2040年には消滅可能性都市になると言われている中での庁舎整備の意義

京丹後市役所がなくなる時の建物の意義	長く使える建物 色んな用途で
--------------------	-------------------

➡ 長く使える建物として、庁舎機能だけではなく、複合的な施設としての機能、汎用性の検討も必要ではないか

- ヨーロッパの建物のような

時代に左右されないデザイン	とがらないデザイン
---------------	-----------

- その他

防災に強い	通いやすい場所	職場が家から近い	駐車場と庁舎が近い
他の庁舎などでも仕事ができる	1人のデスクスペースが広い	フロアの構造	環境のよいフロア
異（移）動しやすい市役所	保守しやすい内装	雪かきの労力が少ない建物	学校みたいな構造
風通しのよい建物	暑くない職場	お昼に集まれる場所	
建物の検討が形ありきnot機能	コストは低いほうが良い		

<機械化>

メールのダウンロードが面倒くさい	市民課業務の機械化	来庁者の本人確認をスムーズにする
ポータルをラインで確認したい	窓口の統合 相談窓口orタブレット	窓口のお客さんがスムーズに流れる
課内メンバーとラインができる ラインワークス	仕事量のバランスがとれている	自分の仕事の代わりができる
ペーパーレス（電子決裁）	異動希望が反映されやすい	書類の整理が統一されている
プリンターの配置場所	●ICT化の促進（ペーパーレス、庁内の情報共有など） ●チームとして仕事ができる仕組みづくり（担当業務の枠を超えた情報共有）	
家でも仕事ができる		

<ソフト>

決裁が早い	繁忙期が偏る担当者の仕事を分散してみんなですすめる体制をつくる	会議のエンドを守る
決裁基準が統一されている	定時で帰りやすい雰囲気がある	日直なくす
色んな部署の職員が近い	PCスキルを向上すべき	昼休みにランチに行ける
課長以上が仲良い（横の業務連携）	パソコン、機械（特にExcel）をみんなが使いこなす	職員写真集
気軽に他部署と談話・交流できる時間がある	昇給試験の導入	他の職員と顔を見て話す機会をつくる
上司、管理職が相談しやすい	コミュニケーションが取りやすい	気をつかわずに話せる本音を話しやすい同世代が近くにいる

庁舎増築棟の整備にあたっては、職員が働きやすい環境整備であり、特に職員間のコミュニケーションが取りやすい職場環境の実現及び福利厚生観点のほか、職員の負担軽減及び業務の効率化の観点を盛り込む必要がある。

I 職員の労働環境の確保及び改善

<優先順位>① 休憩室

職員同士でコミュニケーションがとれたり、食事ができたりするような空間

<優先順位>② 職員保健室

体調の優れない職員が休憩できたり、保健師による指導が行われやすいような空間

<優先順位>③ ごみステーション

満杯となったごみが散らからない、分別がしやすく設計された空間

<優先順位>④ 駐車場

庁舎から近い駐車場（立体・地下含む）

◆意見交換を受けて、駐車場の優先順位は低くないことの意味表示あり！

<優先順位>⑤ 喫煙所

市民の目から配慮された空間

II 福利厚生

<優先順位>① コンビニ

庁舎の中にあると便利！

<優先順位>② 食堂

おいしくて温かい昼食が食べたい！

<優先順位>② ATM

庁舎の中にあると便利！

<優先順位>② Wifi環境

調べものがスムーズにできる！

があったら嬉しい！

◆意見交換での補足：地産地消
・京丹後市の特産品の販売
・野菜等の地元食材を使った弁当の販売

（補足）職員の負担軽減、業務の効率化

「「庁舎増築棟整備」に求められる機能」という趣旨に沿ったものではなく、全部局が集約化されることによって生じる結果を想定し、標記の件について議論した内容が次のとおり。

- ▶ 来庁者向けの窓口案内（総合窓口）を設けたり、案内表示に工夫を行う
- ▶ 電話を受けるときの最初に音声案内を導入
- ▶ 市民手続きに特化した「窓口エリア」と、職員が主に行き来する「事務エリア」に分離
- ▶ 日直業務のあり方、体制の見直し、または日直室内に日直業務用のパソコンを導入
- ▶ デスクトップパソコンをノートパソコンへ更新（デスク周り空間の確保、テレワーク）
- ▶ コンビニでの証明書交付の推進
- ▶ 外線電話を受けられる時間の厳格化
- ▶ 紙決裁から電子決裁への推進

<まとめ>

●職員の労働環境の確保及び改善の観点が必要

特に **休憩室** 職員同士でコミュニケーションがとれたり、食事ができたりするような空間が必要

●福利厚生の観点が必要

特に **コンビニ** があったら非常に嬉しい。

Bグループ

(代表課長等)

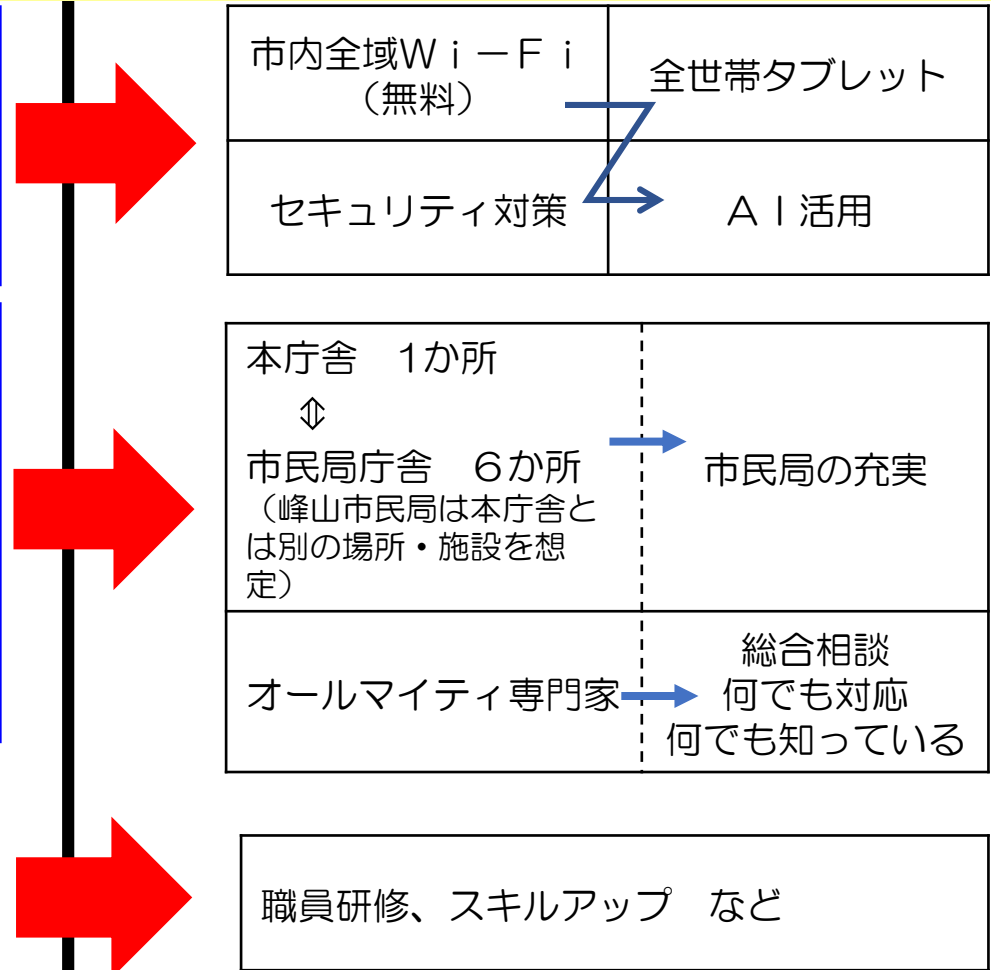
市民にとって役に立つ市役所とは

庁舎増築棟の整備にあたっては、市民が行きやすく、集いやすく、情報が得られやすい市役所にする必要があることから、市民局の充実、市内全域へのフリーWi-Fi整備、どんなことでも相談・対応してくれる職員の育成を進める。

ネットが使える	家から近い	土日祝もあいている	市役所に行かなくても用がすむ	Wi-Fiがある
コンビニがある	コンビニみたいな災害のとき情報発信	24時間営業	どんな情報でも得られる	最新情報

普通に生活できる環境を整える	すぐに動いてくれる	待ち時間が少ない	スピード	市制情報
上下水道 市道等整備	ワンストップ窓口 口手続	ワンストップ	相談できる	応援してくれる 心のささえ
避難所	一度で用が済む	必要とするサービスが一度で済ませられる	相談にのってくれる	助けてくれる

電話したらやさしく教えてくれる	困ったこと(時)に対応してくれる	話し易い	困り事の解決の手助け	身近
わかりやすい説明をしてくれる	(すぐに)返ってくる	市民要望に答えてくれる	集い易い	福祉



増築棟を建てるなら...

市民が行きやすいところに	ATM コンビニ	Wi-Fi必ず	情報ネットワーク 機能	本庁と市民局の情報共有	本庁の1本化
耐震・免震	機能 窓口集約	自家発、再生エネルギー、省エネ	SDGs	たばこ部屋	オールマイティ 専門家を育てる

市民が行きやすく、集いやすく、情報が得られやすい場所

市民にとって役に立つ市役所とは

庁舎増築棟の整備にあたっては、市役所に用のない方やなじみのない方にも来てもらえるような市役所とするため、市民が使えるスペースの充実を図るとともに、職員にとっても有意な施設、設備を整備する。また、市民への対応・接遇の向上のためハード・ソフトを一体的に考える必要がある。

①市民が使えるスペース

宮津市子育て支援センター「にっこりあ」みたいなスペース	物々交換スペース	買い物ついでに行ける	子どもと飲食できる
貸会議室ホール	図書館併設	売店、食堂（店舗のスペース）（市内）の店	遊べる市役所
市民が交流できるスペース	みんなの掲示板スペース	丹後にゆかりのある偉人に関する展示など展示スペース	記念写真スペース

市役所に用のない方、なじみのない方にも来てもらえるような場所

②設備を整える

駐車場がたくさんある	交通の便がいい	トイレがキレイ	エアコン（クーラー）がきいてる
立体駐車場を建てる	行きやすい場所	Wi-Fi環境	バリアフリー
市役所の中に様々な施設（図書館等）	会議室がある	コロナ対策	施錠管理
ATM	コンビニ	文書倉庫の拡大	

市民にとってよい＝職員にとってもよい

③市民への対応・接遇

アプリ待ち時間通知	手続きが簡単	対応がはやい	待ち時間少ない
困っている事に対して的確な補助	外国人にもわかりやすい	ピクトグラム	1か所で用事が済む
年齢層にあった対応ができる	何でも相談できる（個別相談スペース）	迷子にならない	

ハード・ソフトを一体的に考える必要がある

④その他

ネットで様々なサービスが受けられる	行かなくてもいい市役所（峰山）	ほしい情報がすぐ手に入る	土日でも利用できる
-------------------	-----------------	--------------	-----------

市民にとって役に立つ市役所とは

庁舎増築棟の整備にあたっては、市役所は「事務手続きに行く場所」ではなく、「何かのついでに事務手続きができる場所」というイメージを持った庁舎・システムを目指す。地域の方の憩いの場であり、誰もが利用できる、人と人とが繋がれる場所になるように、親子連れの方が子供を遊ばせながら事務手続きができた、テレワークスペースや飲食スペース・共有スペースを活用し、地域活動・市民活動が行える場所になればと考える。

市役所という場所に持つイメージ

行きにくい	用事がないと行かない場所	閉鎖的で入りにくい
-------	--------------	-----------

子供や子育て中の親へ必要だと思うもの

遊具	グランドピアノ	キッズスペース
食堂	休憩スペース	〇〇教室を行うスペース
オープン	バリアフリー	用がなくても行きたくない

働く人や地域の方へ必要だと思うもの

大きな共有スペース	広いスペース	テレワークスペース
iPadショップにあるやつ	無線LAN	

職員のモチベーションアップに必要なと思うもの

オシャレな
オフィス

市役所は「行きにくい」「入りにくい」という思いを持つ方や、子供連れの方には事務の待ち時間が負担になるという意見がありました。その解決策として、「子供や親目線」と「地域の方・働く方目線」、「仕事をする職員目線」の3つの目線からこんなものがあればいいなという意見を出しました。

新庁舎の位置づけが、「事務手続きに行く場所」ではなく、「何かのついでに事務手続きができる場所」になればいいなと思います。

みんなが集まりやすく、年齢等に関係なく安らげる人と人とが繋がる場所に寄り添う形になればいいなと思います。

市外の方からの意見

市役所の立地	分かりやすい場所	車社会
アクセスが便利	京丹後市でかすぎる	

市外の方から市役所の場所や各庁舎の場所がわからないと連絡があることがあります。

その中でも京丹後市は土地が広く、行く庁舎を間違えてしまった場合には、移動だけで大きな負担と時間的なロスになるという意見があります。

高速道路が延伸され、都市部からのアクセスが便利になりましたが、庁舎の場所が国府道に面していないことや、案内掲示板が少ないことが課題となり、土地勘のない方にはわかりづらく、説明しても伝わりにくい現状があると思います。

将来的には、解決しなければならないと思います。

市役所に来ることが可能な方たちの意見



事務手続きの意見・不満

対応のたらいまわし	1つの場所で事務が終わらない
-----------	----------------

	案内板 (タッチパネル) (音声案内)	コンシェルジュ	解決に向けた 思い・発想	
シンプル	親切	部署が遠いので移動がづらい	手続き系はすべて1階に	窓口の色分け
ワンストップ	スピーディー	でも、自然がきれい。だから移動も楽しい	ていねい	

ワンストップではなくなる

市役所に相談しても、「なかなか答えをくれない」「担当部署が違うとたらいまわしにあう」という意見がある中で、どうしていけば解決されるのか意見を出しました。

庁舎間の移動が遠いため市民への負担が大きいことや、事務する窓口が分かりにくいなどの意見が出ました。

それらの解決に向け、「窓口を1階へ集約し、分野ごとに色分けする」「案内板(タッチパネル・音声案内)の設置」などができました。市民の方たちにわかりやすい動線の確保や、わかりやすい案内が必要だと思います。

市役所に来たくても来れない方もいると思います。そんな方たちのために何かあればいいなと意見を出しました。

思いやり	便利	市役所に行かなくても手続きができる	ICTの導入	制限	バスの本数が少ない	老人が多い	子供が少ない	栄えているのが一部だけ	タクシーが少ない
------	----	-------------------	--------	----	-----------	-------	--------	-------------	----------

各家庭への連絡用タブレットの配布

市役所に来れない理由として、「交通手段がない」や「身体が動かしにくい」や「市役所や庁舎の場所が各町の中心部にあるため遠い」などが考えられました。(意見交換において、来てほしい人は来てくれない現状もあるので、そういったことにも配慮が必要との発言あり)

その解決策として実現できるかは一旦置いておきますが、「ICT導入により市役所に行かなくても事務手続きができる」「各家庭に防災無線と同様にタブレットを配布する」などが意見として出てきました。

例えば、都市部のようにコンビニでも住民票等が時間外でも発行できたり、配布したタブレットから上下水道の開閉栓や各種申請手続きが可能になるなどです。実現すればペーパーレスにも貢献でき、職員による書類のチェック・手直しも円滑化すると思います。